

6 成長産業の土台となる農林水産業の基盤整備 263億円

□○水利施設整備事業 (3,447百万円)

国営事業の条件に満たない地域における農業用水源の開発、かんがい施設及び排水施設の整備や、国営かんがい排水事業において整備されたダムや頭首工等の基幹施設から末端の整備

□○農地整備事業 (3,109百万円)

低コスト化や省力化を促すための区画整理として、狭小・不整形で分散した農地を集団化し整形することや、拠点産地の形成等の高能率生産体制の確立を目的としたほ場の整備等を実施

○水産生産基盤整備事業 (1,597百万円)

漁港における台風時の漁船の安全係留を確保するため防波堤や防風施設等の整備とともに漁業就労環境を改善するため防暑施設や浮棧橋等の整備を実施

◎沖縄型森林環境保全事業 (92百万円)

松くい虫等の森林病害虫被害に対して、森林の立地条件等に応じた戦略的防除事業の実施

○森林航空レーザデータ整備事業(43百万円)【新】

地域森林計画の策定に資する森林航空レーザデータの整備



国営かんがい排水事業 多良間地区



森林航空レーザデータ

7 魅力と活力のある農山漁村地域の振興と脱炭素社会の貢献 42.3億円

◎赤土等流出防止営農対策促進事業 (182百万円)

ほ場の回りにベチバー等の植物を植える等、農地における赤土等流出防止対策を実施

○多面的機能支払交付金事業 (336百万円)

農業・農村の有する多面的機能の維持・発揮を図るため、地域の共同活動を支援

□農業集落排水事業(2,434百万円)

農村の生活環境の改善、公共用水域の水質保全等を目的とした、農村集落における生活排水等の汚水を処理する施設の整備



赤土等流出防止対策(ベチバー植栽)

農業集落排水事業(汚水処理場)



◎はソフト交付金、□はハード交付金、○はその他(内閣府一括計上、各省計上、県単等)

商工労働部 令和6年度 当初予算(案)の概要



令和6年度一般会計当初予算(案) : 781.1億円 (△3.9億円、△0.5%)

令和5年度一般会計当初予算額 : 785.0億円

県経済の主な課題等への対応の方向性

- コロナ禍の影響からの持ち直しにより、経済活動が回復に向かう一方で、物価高騰や人手不足等の新たな課題も発生しており、これらの情勢に適切に対応し、**経済の再生を着実に進める必要がある。**
- **将来にわたる持続的な経済成長を実現**するため、コロナ禍や物価高騰等に対する経済的な脆弱性の改善やテフレ経済から成長経済に移行させる施策の促進、生産性向上による付加価値創出、本県の課題や地域資源等の特性を踏まえた施策などを展開する。

経済の再生と持続的成長に向けた部の施策方針

経済の再生と持続的成長を実現するため、5項目を重点項目に位置づけ、強力に施策を展開していく。

1. コロナ後の需要回復等を見据えた経済再生の推進
2. 人材投資と人手不足対策の促進
3. 生産性向上と賃上げに対応する企業への支援
4. 域内経済循環の拡大に資する取組促進
5. イノベーション創出型ビジネスの促進

部の施策方針ごとの令和6年度事業(主な取り組み)

※ 新: 新規事業、拡: 拡充事業、ソ: ソフト交付金事業

1. コロナ後の需要回復等を見据えた経済再生の推進

652.5億円

ソ[新]① 高付加価値・グローバル展開加速化事業 98百万円

グローバル市場への展開に向けて、県産品ブランドイメージ構築、プロモーションを実施

ソ ② 国際航空物流機能強化推進事業 514百万円

復便が進む那覇空港の航空ネットワークを活用した国際物流ハブの再構築・拡充に向け、県内事業者等の輸出促進及び沖縄大交易会の開催支援等を実施

③ 県単融資事業費 63,682百万円

県内金融機関と協調し、融資による資金繰り支援を実施



2. 人材投資と人手不足対策の促進

18.7億円

[新]① 多様な人材活躍促進モデル事業 72百万円

女性や高齢者等への就業意欲喚起の働きかけ、マッチング、企業の職場環境改善等を実施

[拡]② 外国人材受入支援事業 18百万円

企業向け相談窓口の設置及びセミナー、留学生と企業のマッチングイベントを実施

ソ ③ 若年者活躍促進事業 142百万円

若年者の就業・定着の促進、就業意識啓発等の推進、県内就職の促進に向けた取組を実施

ソ[拡]④ 企業研修・リスキリング実践支援事業 50百万円

県内企業による生産性向上を目的としたリスキリングを含む人材育成研修等の実践支援

[拡]⑤ 奨学金返還支援事業 17百万円

人材の確保・定着を支援するため、従業員の奨学金返還支援に取り組む県内中小企業の経費の一部を補助



商工労働部 令和6年度 当初予算(案)の概要

3. 生産性向上と賃上げに対応する企業への支援

33.8億円

- [新]①沖縄県中小企業成長促進事業 88百万円
企業のライフステージに沿った支援の充実を図り、県内中小企業の「稼ぐ力」の土台となる経営基盤の確実な強化に向けた対策を実施
- ソ ②沖縄DX促進支援事業 190百万円
県内企業が進めるDXの取組支援を実施
- ソ ③小規模事業者等デジタル化支援事業 74百万円
県内小規模事業者等の労働生産性向上を目的とした業務のデジタル化促進
- ソ ④所得向上応援企業支援事業 18百万円
所得向上の機運を高めるため、賃上げ等に積極的な企業を認証し支援を実施



4. 域内経済循環の拡大に資する取組促進

15.7億円

- [新]①太陽光発電設備等導入支援事業 120百万円
戸建て住宅、民間事業者向けに太陽光発電設備及び蓄電池設備設置等の支援を実施
- ソ[拡]②島しょ型エネルギー社会基盤構築事業 539百万円
クリーンエネルギーの導入拡大を促進するための再エネ設備等導入支援及び調査等
- ソ ③稼ぐ企業連携支援事業 140百万円
事業者が連携して取り組む収益力や生産性の向上、域内経済循環の促進等に資するプロジェクトを支援
- ソ ④ものづくり県内受注・生産性向上支援事業 66百万円
県内製造業における域内経済循環の拡大や収益力強化を図るため、県内企業間マッチング支援及び生産性向上ハンズオン支援を実施
- ⑤沖縄工芸モノ・コト開発経営改善支援事業 13百万円
工芸事業者における商品及びサービス開発の支援とともに工房運営の課題解決のコンサルティングを実施



5. イノベーション創出型ビジネスの促進

20.5億円

- ソ[拡]①スタートアップ・エコシステム構築支援事業 160百万円
スタートアップが自律的・連続的に生まれ成長するスタートアップ・エコシステムの構築支援を実施
- ソ[新]②テストベッド実証支援事業 30百万円
先端技術を持つ企業等が県内で実施する実証実験の支援を実施
- ソ[新]③実証実験サポート事業 24百万円
優れたテクノロジーや企業の集積を図ることを目的に、実証実験支援窓口を設置し、沖縄県内で企業が実施する先端技術等を活用した実証実験のサポートを実施
- ソ[新]④バイオ関連産業振興支援事業 34百万円
バイオ関連産業の振興を図るため、県内外バイオ関連ネットワーク強化及びバイオ関連企業等への経営支援を実施
- ソ ⑤データ活用プラットフォーム構築事業 69百万円
様々なデータの収集・分析ができるデータ活用プラットフォームの内容充実やデータ利活用促進の環境整備を実施



文化観光スポーツ部 令和6年度当初予算(案)

令和6年度当初予算額	令和5年度当初予算額	増減額	増減率
101.2億円	250.9億円	△149.7億円	△59.7%

<令和6年度当初予算の考え方>

- ▶沖繩観光の持続的な発展と「質の高い沖繩観光」を目指し、国内・海外の誘客・路線誘致活動や、課題である観光産業における人手不足解消に向けた取組などを継続し、「安全・安心で快適な島沖繩」の実現に向けた観光客受入体制の充実・強化を図る。
- ▶PFIの手法による大型MICE施設整備を進めるとともに、マリンタウンMICEエリアの形成を核とした戦略的なMICEの振興に取り組む。
- ▶沖繩文化の保存・継承と更なる発展のため、文化芸術の振興と文化芸術を支える環境づくり、しまくとぅばの保存・普及・継承の促進、空手世界大会の開催を通し「空手発祥の地・沖繩」の発信と沖繩空手の保存・継承・発展に取り組む。
- ▶FIBAバスケットボールワールドカップ2023開催で得た経験やノウハウを活かしスポーツコンベンションの誘致・開催を進めるとともに、令和16年国民スポーツ大会開催に向けた取組をスタートさせるなどスポーツ関連産業の振興と地域・経済の活性化を推進する。
- ▶国際交流や地域外交の中核を担うウチナーネットワークの継承と発展に向けて、国内外県人会との連携強化や次世代育成、地域間国際交流を推進するとともに、多文化共生社会を構築し、交流人口の拡大を図る。

(括弧内は令和5年度当初予算額)

観光振興・MICE 51億円 (200.5億円)

世界から選ばれる持続可能な観光地の形成と沖繩観光の変革

【主な取組】

1. 国内・海外の旅行需要を取り込む誘客活動
2. 「安全・安心で快適な島沖繩」の実現に向けた受入体制の充実・強化
3. 大型MICE施設整備等を核とした戦略的なMICEの振興

文化・空手振興 33.8億円 (32.4億円)

沖繩文化の保存・継承・創造と更なる発展

【主な取組】

1. 沖繩文化の継承・発展・普及
2. 文化芸術の振興と文化芸術を支える環境づくり
3. しまくとぅばの保存・普及・継承の促進
4. 沖繩空手の保存・継承・発展と沖繩空手世界大会の開催

スポーツ振興 10.2億円 (12.9億円)

世界にはばたき躍動するスポーツアイランド沖繩の形成

【主な取組】

1. スポーツ関連産業の振興と地域の活性化
(FIBA2023開催ノウハウを活用したスポーツコンベンションの推進)
2. R16国民スポーツ大会(国体)開催に向けた準備着手
3. 競技スポーツの推進

交流推進 6.2億円 (5.1億円)

沖繩を結び目とする「ウチナーネットワーク」の継承・発展・強化

【主な取組】

1. 交流基盤としてのコンシルジュ機能の拡充及びウチナーネットワークの継承・発展を担う次世代の育成・支援
2. 国内外との多角的な交流の推進

世界から選ばれる持続可能な観光地の形成と沖縄観光の変革（51億円）

国内・海外の旅行需要を取り込む誘客活動

- ① **沖縄観光グローバル事業** **550百万円**（643百万円）
国際観光地沖縄の需要創出を図るため、航空路線の誘致・拡充と連動したターゲット市場における戦略的なプロモーションの展開、Be.Okinawaブランドのイメージ浸透、富裕層に特化したプロモーションを実施する。
- ② **国内需要安定化事業** **276百万円**（322百万円）
国内観光客の安定的かつ継続的な確保を図るため、各種プロモーションの展開、沖縄観光ブランド「Be.Okinawa」の周知、及び国内富裕層向けプロモーションを行う。
- ③ **離島観光活性化促進事業** **103百万円**（117百万円）
離島への観光客誘致を促進するため、離島へのチャーター便支援、離島観光プロモーション、主要離島地域の観光客が主体となった地域プロモーション等を実施する。
- ④ **高付加価値なインバウンド観光地形成事業【新】** **180百万円**
アドベンチャーツーリズムなど、高付加価値な観光資源開発を支援し、県内へ富裕層インバウンドを取り込み世界から選ばれる持続可能な観光地の形成を目指す。



「安全・安心で快適な島沖縄」の実現に向けた受入体制の充実・強化

- ① **沖縄観光人材不足緊急対策事業【新】【内閣府】** **575百万円**
観光需要が回復する中で、現場における人材不足に対応するため、観光事業者が実施する無人化・省人化の取組や、県外等からの観光人材の受入促進に関する取組を支援する。
- ② **観光人材確保支援事業【基金】** **212百万円**（249百万円）
観光業界における仕事の魅力を伝え、観光業界への就労意欲を高めるため、観光現場における様々な取組を伝える広報を実施するとともに、学生等向けに観光業界について理解を促進するための見学ツアーや職業体験イベントを開催。
- ③ **観光2次交通結節点機能強化事業【拡】【基金】** **143百万円**（53百万円）
観光客の滞在拠点となっている北谷町美浜エリアを観光2次交通結節点と位置づけ、バスやタクシーが乗降できる乗り場のほか、多様な移動手段と乗換えが出来る交通広場を設置し、近隣のレンタカー事業者の営業所やホテル等を周遊する小型のバス等を運行する実証事業を実施。



観光人材確保



観光2次交通整備強化

※主な事業()はR5年度予算額／【基金】は沖縄県観光振興基金活用事業

④ 災害時等観光客避難支援事業【新】【基金】 31百万円

台風等災害時に帰宅困難となった観光客の滞在先(ホテル・県有施設等)の確保及び備蓄支援を行う。

観光危機管理

⑤ 沖縄観光コンテンツ開発支援事業 92百万円 (100百万円)

沖縄の豊かな自然、伝統文化、歴史等のソフトパワーを生かし多彩で質の高い観光コンテンツ開発に取り組む民間事業者等に対し、コンテンツ開発に要する経費の一部を補助する。

質の高い観光コンテンツ造成

⑥ 持続可能な国際観光景観事業【新】【内閣府】 300百万円

「～美ら島沖縄～花と樹木の沿道景観計画」で定める重点管理路線において、道路緑化及び官民連携の取組等により、持続可能な国際観光地の形成を図る。

持続可能な観光地の形成

⑦ マリンレジャー事故防止調査対策事業【拡】【基金】 116百万円 (30百万円)

安全安心にマリンレジャーを楽しむための動画等を観光客に周知するとともに、ライフセーバー等を活用した海の安全講習会を実施。

⑧ サステナブルツーリズム推進事業【拡】【基金】 28百万円 (12百万円)

世界から選ばれる持続可能(サステナブル)な観光地の形成にむけ、サステナブルツーリズムを推進するとともに、旅行者と地域住民が沖縄観光の価値を共有し、自然環境、地域文化、生活環境への影響に十分配慮(エシカル)したレスポンシブルツーリズムに取り組む仕組みづくりを構築。

⑨ 持続可能な観光地形成に向けた2次交通推進モデル事業【新】 120百万円

特定の地域や時期における、旅行者の急激な増加に伴う自然環境や住民生活への影響等の観光諸問題を解決するため、観光客の平準化及び分散化を行うとともに、地域の実情に応じた需要の適切な管理を行うため地域協議会と連携した取組を行う。

大型MICE施設整備等を核とした戦略的なMICEの振興

① マリントウン大型MICE施設整備・エリア形成事業 106百万円 (43百万円)

大型MICE施設とマリントウンMICEエリア全体の周辺環境の整備に向けた取組(PFI法に基づく公募手続・事業者選定及びスマートシティ形成のための調査検討等)の推進

(※事業者公募にあたり、設計・建設に要する経費について債務負担(434億円)を設定(運営・維持管理に要する経費は民間事業者負担(独立採算))

② 戦略的MICE誘致促進事業 192百万円 (211百万円)

回復傾向にある国内外のMICE需要を沖縄へ引き込むための積極的な誘致・プロモーション活動の展開

③ eスポーツ関連基礎調査事業【新】 16百万円

eスポーツの国際大会や大規模大会の誘致促進等に資する基礎調査を実施



※主な事業()はR5年度予算額／【基金】は沖縄県観光振興基金活用事業

沖縄文化の保存・継承・創造と更なる発展（33.8億円）

沖縄文化の継承・発展・普及/文化芸術の振興と文化芸術を支える環境づくり



① 琉球歴史文化芸術興隆事業【新】 82百万円

文化関連産業と他の産業を結びとともに、沖縄固有の歴史・文化・芸術の継承及び発展、興隆に向けた次の取組を推進。

- 1 県人会等と連携した国内外における沖縄の伝統芸能等の認知度向上
- 2 琉球料理等のユネスコ無形文化遺産登録の推進
- 3 「琉球歴史文化の日」を中心とした文化、歴史、芸術に関する普及・啓発等



② 沖縄食文化保存普及継承事業 18百万円（21百万円）

沖縄の伝統的な食文化の保存・普及・継承に向けた担い手の育成等を継続するとともに、令和5年度から新たに開始した琉球料理が味わえる店認証制度の普及推進を図る。

③ しまじまの芸能を活用した文化観光コンテンツ創出事業【基金】 44百万円（47百万円）

文化資源を活用した観光推進に向け、伝統芸能祭の開催による披露の場の提供及び文化相談員による支援

④ しまくとぅばアニメオリジナル事業【新】 10百万円

「しまくとぅば」を日常的に触れてもらい、「しまくとぅば」の普及促進を図ることを目的に、若年層をターゲットにした「しまくとぅばアニメオリジナル 動画」を製作し、WEB配信する。



⑤ しまくとぅば普及継承事業 74百万円（74百万円）

地域の伝統行事等で使用される大切な言葉であり、組踊や琉球舞踊、沖縄芝居等の沖縄文化の基層である「しまくとぅば」を次世代へ継承するため、「しまくとぅば普及推進計画(第2期計画)」に基づき県民運動を展開し、各地域で普及促進を行う。

沖縄空手の保存・継承・発展と沖縄空手世界大会の開催



① 沖縄空手世界大会開催事業【拡】 100百万円（39百万円） 第2回沖縄空手少年少女世界大会の本大会開催

② 沖縄県空手振興事業 115百万円（115百万円）

空手指導者の育成、SNS等での情報発信強化、空手関連イベントの開催及び観光事業者等との連携促進等

③ 沖縄空手ユネスコ登録推進事業 10百万円（12百万円） ユネスコ登録に必要な調査・研究のとりまとめ

④ 空手ツーリズム受入体制構築事業【基金】 36百万円（22百万円）

「空手ツーリズム」を推進し、国内外の空手愛好家や観光客の受入体制構築強化



※主な事業()はR5年度予算額/【基金】は沖縄県観光振興基金活用事業

世界にはばたき躍動する「スポーツアイランド沖縄」の形成（10.2億円）

- ① **FBWC2023のレガシーを活用したスポーツ交流推進事業【新】 6百万円**
FIBAバスケットボールワールドカップ2023開催で培ったレガシーを活用し、トップアスリートと子ども達との交流機会等を創出
- ② **デフバレー世界選手権大会開催支援事業【新】 10百万円**
令和6年6月に豊見城市で開催される「第5回デフバレーボール世界選手権大会」の開催支援
- ③ **令和16年度（2034年）第88回国民スポーツ大会開催準備事業【新】 19百万円**
令和16年度沖縄開催に向けた大会準備委員会の設立、競技候補施設の基準調査等
- ④ **スポーツツーリズム戦略推進事業【拡】 247百万円（264百万円）**
スポーツツーリズムを推進するため、魅力あるイベントの支援、プロ野球・サッカーキャンプの全県的な受入体制の整備、国内外の様々な競技チームの合宿誘致及びサイクルツーリズムの推進に取り組む
- ⑤ **サッカースタジアム整備等推進事業 28百万円（21百万円）**
県内、国内外からのスポーツコンベンションの推進とスポーツ交流拠点の形成のため、その核となるJリーグ規格スタジアムの整備に取り組む。



沖縄を結び目とする「ウチナーネットワーク」の継承・発展・強化（6.2億円）

- ① **ウチナーネットワーク拡充支援プロジェクト【新】 86百万円**
 - ・世界に広がるウチナーネットワークの強化や交流促進を図るため、県人会サミットを開催し、海外県人会と本県の相互交流や連携を深める。
 - ・次世代を担う子ども達に向けた学習コンテンツの発信や伝統芸能文化を通じた県人会活動を支援し、ウチナーネットワークの構築を促進。
(※世界のウチナーンチュの心の拠り所“むーとうやー”となる「世界ウチナーンチュセンター(仮称)」の設置に向けた取組を実施)
- ② **新・地域間国際交流(協力)推進事業【新】 34百万円**
 - ・海外姉妹都市との地域間交流を深めるため、エイサーやスポーツを通じた親善事業や経済発展につながる技術面での交流を推進。
 - ・新たな地域(欧州、オセアニア等)との交流や姉妹都市の締結など、地域外交を見据え、芸術や伝統工芸等の多分野を通じた交流事業を実施。
- ③ **人材交流を中心とした新事業・共創ネットワーク事業【新】 24百万円**
 - ・海外県人会やJICA等の関係機関と連携し、海外子弟留学生や県内企業等の国際交流の発展に向けた支援を実施。
 - ・南米のウチナーネットワーク構築や経済交流等の発展に向けた調査等の実施。
- ④ **次世代ウチナーネットワーク育成事業【拡】 84百万円（71百万円）**
 - ・SNS等を活用した海外向けの情報発信やオンライン交流、移民歴史資料の情報収集、ウチナーネットワーク担い手の育成等を担うコンシェルジュ機能の強化を図る。また、国内外と沖縄の若者同士の交流を促進する交流プログラム、特に海外子弟留学生の県内受入を拡充する。



※主な事業()内はR5年度予算額

土木建築部 令和6年度概算要求額 1,080億円

(令和5年度当初予算額 1,041億円：39億円増、3.7%増)



1 産業インフラの整備

()内の数値は令和5年度当初予算の額 単位：百万円

【沖縄都市モノレール輸送力増強事業5,917 (4,429)】

車両基地の整備

【地域連携道路 5,000 (4,200)】

南風原知念線（南部東道路）の整備

幸地インター線の整備

沖縄嘉手納線（池武当インターチェンジ
（仮称））の整備【新規】



(仮称)池武当IC



【社総金（道路） 5,393 (6,083) 11路線】

那覇北中城線（幸地～翁長）の整備

浦添西原線（翁長～嘉手苅）

【ハード交付金（街路） 1,429 (1,688) 26箇所】

真地久茂地線、龍潭線等

【ハード交付金（道路） 1,303 (1,396) 26箇所】

石垣空港線、名護本部線等

【北部振興事業（道路） 340 (480)】

国道449号（本部大橋）

【社総金(港湾) 1,380 (1,070) 9箇所】

前泊港、南大東港西地区等

【ハード交付金(港湾) 427 (485) 6箇所】

白浜港、中城湾港（泡瀬地区）等



2 安全・安心の確保

【道路メンテナンス事業 1,200 (1,200)】

老朽化対策

【緊急自然災害防止対策事業（道路防災） 3,379

(1,485)】道路防災の実施

【無電柱化推進計画事業 471 (484)】

無電柱化の実施

【交通安全対策事業(通学路緊急対策) 769 (620)】

通学路合同点検箇所 22箇所の整備

【社総金（河川） 840 (1,650)】

浸水被害の軽減を実施

【ハード交付金（河川） 660 (700)】

【砂防関係事業 1,310 (1,490)】

砂防・地すべり、急傾斜地崩壊対策施設の整備

【海岸整備事業 253 (694)】

海岸保全施設の整備



【都市防災総合推進事業 37 (0)】

盛土規制法に係る規制区域指定等に向けた基礎調査【新規】

【社総金（公園） 1,088 (1,483)】

沖縄県総合運動公園、首里城公園等の整備・改修

【ハード交付金（公園） 181 (200)】

名護中央公園、奥武山公園、海軍壕公園等の改修

【社総金（住宅） 2,157 (2,702)】

牧港団地等の建替、外壁およびEV改修工事

【ハード交付金（住宅） 1,853 (1,728)】

平良南松川団地等の建替、外壁およびEV改修工事

外壁およびEV改修工事

【住市総（住宅） 2,747 (1,398)】

赤道団地の建替



3 離島・過疎地域振興

【離島空港整備事業 4,149 (3,246)】

宮古空港（RESA整備、照明LED化）

久米島空港（RESA整備、旅客ターミナル耐震化）

与那国空港（旅客ターミナル耐震化）

南大東空港（滑走路等改良）

北大東空港（RESA整備、滑走路等改良、場周柵更新）

伊江島空港（RESA整備）他6空港



【離島港湾整備事業 2,259 (2,116)】

水納港、前泊港、南大東港西地区等

【ハード交付金（道路） 1,019 (1,014) 13路線】

石垣空港線・久米島一周線（比嘉～島尻）等の整備

【ハード交付金（街路） 500 (460) 4路線】

マクラム通り線等の整備



【公営住宅整備事業（県） 2,916 (2,091)】

新川団地4期、真喜良第二団地1期【新規】

平良南2期・平良北団地2期の実施

【公営住宅整備事業(市町村) 321 (160)】

上原市営住宅1期（宮古島市）の実施

南原団地4期（多良間村）の実施

久部良第一団地3期（与那国町）の実施等

新川団地



【社総金（公園） 312 (430)】

宮古広域公園の整備

【ハード交付金（公園） 20 (30)】

バナナ公園の改修

宮古広域公園



土木建築部 令和6年度概算要求額 1,080億円（分野ごと）

（令和5年度当初予算額 1,041億円：39億円増、伸び率3.7%）事業費ベース・県単及び管理含む

【1. 道路 321.6億円】 (R5:291.3億円)

- ・南風原知念線（南部東道路）他40箇所
 - ・真地久茂地線（街路）他25箇所
 - ・沖縄都市モノレール輸送力増強事業（R6トピック）
- 沖縄嘉手納線（池武当インターチェンジ（仮称））が新規事業化



【2. 治水 42.8億円】 (R5:54.5億円)

- ・国場川他16河川改修工事及び情報基盤等の整備
 - ・当間地区等（地すべり対策工事）
 - ・世富慶地区等（急傾斜地崩壊対策工事）
 - ・盛土規制法に係る規制区域の指定等に向けた基礎調査
- （R6トピック）
防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策で推進



【3. 空港 41億円】 (R5:32億円)

- ・宮古空港（RESA整備等）
 - ・南大東空港（滑走路等改良）
 - ・北大東空港（RESA整備等）
 - ・久米島空港（RESA整備等）他8空港
- （R6トピック）
北大東空港のRESA・滑走路改良完了予定



【4. 住宅 77.3億円】 (R5:66.5億円)

- ・平良北団地ほか（建替）
 - ・与那原第二団地ほか（昇降機改修）
- （R6トピック）
南風原第二第2期・高原団地1期の建設工事が完了し、入居予定



【沖縄市：県営高原団地】

【5. 公園 49.5億円】 (R5:53.4億円)

- ・沖縄県総合運動公園、海軍壕公園他5公園（老朽化施設改修）
- ・中城公園（駐車場整備）
- ・浦添大公園（園路整備）
- ・宮古広域公園（用地補償）

（R6トピック）
海軍壕公園の展望台改修予定



【6. 海岸 2.5億円】 (R5:6.9億円)

- ・水釜海岸（護岸改修）
- ・伊佐海岸（護岸改修）
- ・中城湾港海岸（護岸改修）他8箇所

（R6トピック）
塩屋港海岸（白浜地区）の老朽化対策を推進（ハード交付金）



【7. 港湾 26億円】 (R5:27億円)

- ・前泊港（防波堤改修）
- ・南大東港（西地区）（岸壁整備）

（R6トピック）
仲間港整備事業、仲田港整備事業等々を新規事業化



【8. 下水道 59.8億円】 (R5:61.1億円)

- ・那覇-宜野湾浄化センター改築更新
- （R6トピック）
那覇浄化センターにおいて、2系反応タンク、2系最終沈澱池の築造に着手



【那覇浄化センター】

教育委員会 予算施策体系図

令和5年度当初予算額	令和6年度当初予算(案)	増減額	増減率
1,705.1 億円	1,782.7 億円	77.6 億円	+4.6%

1. 学校における働き方改革の推進



※ () 内の金額は令和5年度予算額。単位：百万円

- ① **教員業務支援員配置事業 459 (107)**
教員が授業や生徒指導等に注力できるよう、学習プリントの印刷等を教員に代わって行う教員業務支援員を学校に配置する。
- ② **スクールカウンセラー等配置事業 472 (276)**
教育相談体制の強化を図るため、心理や福祉に関して専門的な知識を有する人材を学校に配置する。

- ③ **部活動指導員・部活動地域移行関連事業 139 (93)**
教員に代わり指導や大会引率等を担う部活動指導員を配置するほか、学校・地域、各競技団体等との連携を行うコーディネーターを配置し地域移行に取り組む。
- ④ **学校問題解決支援事業 5【新規】**
保護者や地域からの過剰な苦情など学校だけでは解決が難しい事案について、専門家と連携した行政による支援体制の構築に向けたモデル事業を行う。

2. 学校教育の充実



- ① **校内自立支援室事業 226 (149)**
不登校児童生徒等への多様な学習の機会を確保するため、学習支援員を配置し、個々の状況に応じた多様な学習活動を支援する。
- ② **就学継続支援員配置事業 56 (56)**
不登校傾向や中途退学が懸念される生徒の就学継続を支援するため、心理職・福祉職等の専門資格を有する支援員を配置し、校内外の支援体制を構築する。
- ③ **県立学校施設適正管理推進事業 498【新規】**
県立学校施設等を長寿命化し、機能確保・向上を図る。

4. 子どもの貧困対策の推進



- ① **バス通学費等支援事業 393 (397)**
家庭の経済環境にかかわらず、安心して学業に励むことができる環境整備を図るため、バス・モルール通学費に対する支援を行う。
- ② **高等学校等奨学のための給付金事業 1,379 (1,389)**
高校生等がいる低所得者世帯を対象に給付金を支給することにより、授業料以外の教育費の負担軽減を図り、教育の機会均等に寄与する。

3. 国際社会・情報社会等への対応



- ① **公立学校情報機器整備事業 1,555【新規】**
個別最適な学びと協働的な学びを実現するため、県を中心とした共同調達など、計画的・効率的に1人1台端末の整備(更新)を行う。
- ② **国際性に富む人材育成事業 157 (129)**
国際社会で活躍し本県の振興・発展を担う人材育成のため高校生を海外派遣する。

5. 生涯学習の充実、青少年の健全育成



- ① **玉城青少年の家改築事業 341 (283)**
「玉城青少年の家」の改築を実施し、利用者のニーズに即した施設を提供することで地域の教育機能充実を図る。

6. 文化の継承・発展



- ① **埋蔵文化財収蔵施設整備事業 44【新規】**
出土遺物を適切に保管・活用するため、新たに保存施設を整備する。

公安委員会 令和6年度当初予算（案）の概要



「安全・安心の島 沖縄」の実現

警察費 386.1億円 (377.7億円)

※ () は令和5年度当初予算

1 県民の期待と信頼に応える警察基盤・組織機能の最適化 338.6億円 (330.4億円)

- 治安維持の拠点である警察施設（警察署、交番、駐在所等）の整備 2,257百万円
- 警察行政を支える警察情報システムの整備及びデジタル化の推進 894百万円
- あらゆる警察事象に対応するための警察航空機の運用維持管理 346百万円



2 県民の安全・安心の確保と犯罪抑止対策の推進及び街頭活動の強化 4.3億円 (4.2億円)

- 110番通報システム等の的確な初動警察活動のための基盤整備 360百万円
- サイバー空間における対処能力の強化 37百万円
- 水難事故防止対策及び地域警察活動の強化 7百万円

3 社会の変化に適応した犯罪検挙力の強化及び組織犯罪総合対策の推進 3.0億円 (2.7億円)

- 検挙力の強化、犯罪捜査のための基盤整備 104百万円
- 組織犯罪対策、薬物・銃器犯罪対策の推進 6百万円
- 客観証拠を重視した科学捜査の推進 35百万円



4 安全かつ快適な交通の確保 21.6億円 (21.8億円)

- 適正な運転免許行政の推進 508百万円
- 交通環境（信号機、道路標識、道路標示等）の整備 1,084百万円
- 飲酒運転根絶・交通事故抑止対策、交通指導取締りの推進 37百万円

5 テロ等の未然防止及び緊急事態に即応する諸対策の推進 18.6億円 (18.6億円)

- 国境離島における不法事案等対策 1,846百万円



病院事業局 令和6年度当初予算案の概要

令和6年度
病院事業会計予算 (= I + II)

839.7億円

(前年度比+25.7億円)

I 収益的収支予算

病院事業費用 755.1億円 (前年度比+29.2億円)

II 資本的収支予算

資本的支出 84.7億円 (前年度比△3.5億円)

1. 基本方針

- (1) 持続的な経営の健全化
- (2) 経営強化計画の目標達成
- (3) 効率的な企業経営の実現

2. 令和4年度決算

○病院事業会計は、4年連続で経常収支が黒字

- ・経常収支： 39.7億円
- ・純損益：41.3億円
- ・医業収支：△120.1億円
- ・利益剰余金：39.0億円



3. 課題

- (1) 持続可能な地域医療提供体制を確保するための機能分化・連携強化
- (2) 新型コロナウイルス感染症の対応等に伴い拡大した医業損失の縮減
- (3) 医師、看護師等の医療人材の安定的な確保及び働き方改革の取組
- (4) 施設・設備の整備、物価高騰に伴う医療材料費増加等への対応

4. 課題への対応

- (1) 県立病院を取り巻く環境変化に対応するための役割分担の明確化・最適化
- (2) 病床利用率向上、平均在院日数短縮等による収益増加及び時間外勤務縮減、委託費適正化等による費用縮減
- (3) 集約化及び応援体制の構築による医療人材の効率的配置、時間外勤務縮減等による離職防止、時間外労働の上限規制への対応
- (4) 中長期的な計画に基づく施設・設備の新設・更新、医療材料の共同（一括）購入等による経営効率化



**県民への安定的な医療提供体制の確保
及び持続的な経営の健全化**



企業局 令和6年度当初予算案の概要 (水道)

令和6年度当初予算
水道事業会計予算(= I + II)

455.4億円

(前年度比+13.1億円)

I 収益的収支予算

水道事業費用 318.7億円 (前年度比△13.3億円)

II 資本的収支予算

資本的支出 136.7億円 (前年度比+26.4億円)

1. 基本方針

- (1)安全で安心な水の安定供給
- (2)計画的、効率的及び効果的な事業運営
- (3)将来にわたる健全経営の確保

2. 現状と課題

- ✓ 物価高騰等に伴う費用の増
→令和6年10月から料金改定(+23円/m³)を予定
※R6.10~R7.3:+18.6円/m³(減免△4.4円/m³)
- ✓ 老朽施設の修繕、更新及び耐震化が必要
- ✓ 水道広域化の進展
- ✓ 水道用水中のPFOS濃度低減化

3. 主な施設老朽化等対策費用

- 修繕費:16億円(前年度比+6億円)
- 建設改良費:96億円(前年度比+27億円)

4. 事業内容:建設改良費96億円

- 今後の水需要への対応及び水質の安全性を確保するための水道施設の整備
- 災害に強い水道施設の構築に向けた耐震化等の減災対策の実施
- 本島周辺離島8村への水道広域化に向けた水道施設の整備

【本島事業 84.0億円】

ハード交付金事業費 71.1億円(うち国費26.8億円)
県単施設整備費 12.9億円

- ・北谷浄水場
- ・石川~上間送水管
- ・東系列導水路トンネル
- ・新垣増圧ポンプ場 等

【離島事業 12.0億円】

ハード交付金事業費 9.0億円(うち国費7.4億円)
県単施設整備費 3.0億円

- ・座間味村[海水淡水化施設の整備]
(座間味地区)※R7年度供給開始予定
- ・渡名喜村[海水淡水化施設の整備]
※R7年度供給開始予定
- ・粟国村[海水淡水化施設の更新]
- ・渡嘉敷村、伊是名村[調整池の整備]



(耐震管) 送水管



ポンプ設備



海水淡水化施設



調整池

